



とよ だ みつ はる  
**豊田 光治**

にほんきょうさんとうつしぎだん  
**日本共産党津市議団**

### バイオマス等の利活用で地域づくりを

**問** 「地方創生」を目指した活性化の手段として、自然エネルギーの利活用が考えられる。

バイオマス等の利活用は、設備の維持管理の側面から、雇用が生まれやすく、地元業者が担える。

関連する地域資源も地元で豊富にあり、地域づくりに役立つと思うが、どう考えるか。

**答** 再生可能エネルギーを活用した地域づくりは各地域で実施されている。津市地域新エネルギービジョンでも、風力発電支援事業、太陽光発電導入促進事業、小規模水力発電導入促進事業、バイオマス導入促進事業を位置付けている。これらの事業は、平成29年度を最終年度として計画を策定しており、平成29年度末には、津市全体の世帯数を大きく上回る12万3900世帯分の電力について、太陽光発電、風力発電、バイオマス発電で賄える見込みとなっており、津市は電力の地産地消を実施しているということが言えるようになると考えている。



### ●その他の質疑・質問●

- 防災対策のうち、津波対策については、緊急避難所の位置付けの周知徹底を。また車での避難のルール作りを急げ
- 洪水対策については、できるだけリアルタイムでの情報提供を
- 高齢者、障がい者の避難対策は、個々の条件を考慮した方法で、またこれに関する相談が気軽にできる窓口の設置を など



▲間伐材などを使ったバイオマス等の利活用を



やま ざき まさ ゆき  
**山崎 正行**

しみんくらぶ  
**市民クラブ**

### 公共工事費高騰に予算の増額措置を

**問** 昨年来から諸々の工事関係資材の高騰及び人材不足等で、国・県同様津市の大型公共工事でも入札不調等により、多額の追加予算に追い込まれた。このような状況下で、本年度各工事事務所・総合支所において、自治会等からの要望に大変苦慮している。

市民の皆様の要望に支障がないように、本年度の増額補正と平成28年度の増額計上を求める。

**答** 公共工事は年度計画に基づき実施する事業や各地域から寄せられた要望に対し、内容を精査し、地元調整を行った上で事業を実施しているが、現在、工事の施工等については、公共工事費高騰のため、関係自治会と協議を行い、緊急度・優先度を考慮し、施工箇所の絞り込み等により対応している。しかし、市民生活に密着した維持修繕工事は、非常に大切なものと考えており、平成25年度から国土交通省所管の社会資本整備総合交付金を活用することにより、舗装や橋りょう等の維持修繕工事の強化をしてきたところである。今後も国・県の補助金等、特定財源の確保に努め、各所管の状況をしっかりと確認し、予算編成を行うよう努めていく。

### ●その他の質疑・質問●

- 繁茂する雑草の除去対策について
- 防災情報伝達にCATVの活用を
- コンビニでの諸証明の交付サービスについて
- 消防水利設備へのLED点滅灯の設置について



▲工事が進められている一志消防分署